

ミュージッククリエイション成績評価基準

	重要度	Cレベル（改善が必要）	Bレベル（もう少し努力）	Aレベル（目標達成）	Sレベル（すばらしい）
コンピュータミュージックにおける、音楽の情報化に関する理解。	30%	音楽がどのように情報化されるか理解出来ていない。	音程、音量、音価、といった必要最低限の演奏情報の扱い方について理解出来ている。	左記に加えて、コントロールチェンジ、オートメーションデータなどの演奏情報を理解出来る。	よりクリエイティブに音楽情報を扱う事が出来る。
ポピュラー音楽における基本的な作曲技法の理解。	30%	ダイアトニックコードが理解出来ず、ハーモニーを組み立てる事が出来ない。	ハーモニーを組み立てる事が出来るが、時間軸の構成法が理解出来ていない。	ハーモニーの仕組みを理解し、組み立て、進行させる事が出来る。また時間軸上にそれらを構成する事が出来る。	左記に加えて、メロディや他の音楽要素を付加する事が出来る。
作品制作、作品提出	20%	締め切りまでに行程を管理出来ず、提出が間に合わない。	期限までに提出がなされたが、授業時に発表する「規定」をクリアしていない。	期限までに提出がなされ、左記「規定」をクリアしている。	左記に加えて、作品に創意工夫が見られる。
最終発表（プレゼンテーション）	20%	作品に関するコンセプトをプレゼンテーション出来ない。	声が小さい、制限時間オーバーなど、発表または内容にやや難がある。	自分の作品に関して、自信を持って説明し発表する事が出来る。	発表が素晴らしく、かつ作品自体のクオリティも高い。